



## 『海を考えるシンポジウム』

～海の安全と、海を活かした教育について考える～

平成25年9月15日（日） 13：00～17：30

沖縄県立博物館・美術館（講堂）

参加料 無料

お問い合わせ [info@owps.jp](mailto:info@owps.jp)（音野） [itosu@jim.u-ryukyu.ac.jp](mailto:itosu@jim.u-ryukyu.ac.jp)（糸洲）

 日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

琉球大学：海を活かした教育に関する実践研究事業

# 『海を考えるシンポジウム』

## 海の安全と、海を活かした教育について考える

【主催】 国立大学法人琉球大学 : 海を活かした教育に関する実践研究事業

【後援】 沖縄県教育委員会 東京大学海洋アライアンス海洋教育推進研究センター

【助成】 日本財団

【会場・日時】 平成25年9月15日（日） 13:00~17:30 沖縄県立博物館・美術館（講堂）

### 【開催の目的と背景】

国立大学法人琉球大学は、2010年より日本財団から助成を受け「海を活かした教育に関する実践研究事業」において、大学生・大学院生に対してライフセービングスキルを中心とした教育プログラムを実施し海洋教育の人材育成を図ると共に、今後の我が国における海を活かした教育プログラムの教材開発のため、アメリカやオーストラリアの各地へプログラムの視察・体験を行ってきた。

このような背景のもと、海プロジェクトが展開してきた活動の成果と今後の課題を整理し、シンポジウムの開催を通じて海浜教育の現場で活動している指導者の方々に広く周知するとともに、国内外からプログラム指導者を招聘し、指導者だけでなく、プログラムの参加者ならびにその保護者等より多くの方々も含めた意見交換を行う事で、今後、我が国における海を活かした教育活動をさらに発展させる契機とすることを目的として本シンポジウムを開催する。

【対象と定員】 海浜の安全と海を活かした教育・スポーツツーリズムに興味のある方、200名程度

【参加費】 無料

【プログラム】 総合司会：真栄城 勉（琉球大学 生涯学習教育研究センター長）

開会挨拶：井上 講四氏（琉球大学 教育学部長）

基調講演：小池 勲夫氏（琉球大学 監事） 『第2期海洋基本計画と初中等学校における海洋教育の促進について』

シンポジスト Key Word：海・安全・教育・スポーツツーリズム

小峯 力氏（中央大学 教授 / 日本ライフセービング協会 理事長）

豊田 勝義氏（オクマジュニアライフセービングクラブ 代表）

ラルフ後藤氏（ハワイ州ライフガード協会 会長）

デイブ・シムコックス氏（カリフォルニア州ハンティントンJr.ライフガード コーディネーター）

ロッドニー・エドワーズ（クイーンズランド州ヘリコプターレスキュートレーニングオフィサー）

座談会 テーマ：海の安全と、海を活かした教育について考える

コーディネーター・コメンテーター：音野 太志氏（琉球大学特命研究員）

【その他】 14日（土）は北谷サンセットビーチ、16日（月）は国頭郡オクマビーチにて海浜パトロール活動ならびに

ジュニアプログラム実践の視察を行います。希望者は参加可能です。

【お問い合わせ・申し込み】 E-mailにて、氏名と連絡先、人数をご連絡下さい。

事前に参加申し込みをされた方には、当日の式次第を添付して返送致します。当日の参加も可能です。

info@owps.jp（音野）もしくは、itosu@jim.u-ryukyu.ac.jp（糸洲）までお問い合わせ下さい。